



東広会ニュース

1月号

2026年(令和8年)

Vol.223

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-1
JR恵比寿ビル10F東日本鉄道東京広告会
電話 03(5447)7928
E-MAIL info@tokokai.jp

乾杯の音頭をとる中川晴美東日本旅客鉄道(株)常務取締役マーケティング本部長

東日本鉄道東京広告会が発足してから今年で22回目を迎える2026年「新年賀詞交歓会」が、1月7日(水)18時

00分よりホテルメトロポリタンエドモントにおいて開催された。今回の「新年賀詞交歓会」は、東日本旅客鉄道株式会社常務取締役マーケティング本部長 中川晴美様、JR東日本メディア株式会社代表取締役社長 竹澤康行様をはじめ多数の来賓の方々をお迎えして開催された。

交歓会では、参加した東日本鉄道東京広告会に加盟する会員各社が懇親を深めるとともに相互交流が行われた。

東日本鉄道東京広告会「新年賀詞交歓会」開催

来賓の方々をお迎えして開催された。

会に先立ち、石川明彦東日本鉄道東

京広告会会長、滝久雄東日本鉄道東

京広告会副会長、栗原圭一東日本鉄道東

京広告会副会長、大塚尚司東日本旅

客鉄道株式会社常務取締役マーケティ

ング本部長の5名の代表者による新年

を祝う日本酒の鏡開きが行われると

もに、中川晴美東日本旅客鉄道株式会

社常務取締役マーケティング本部長に

よる乾杯の挨拶が行われた。

その後、「新年賀詞交歓会」出席者時00分より東京都千代田区飯田橋のホテルメトロポリタンエドモント2階「悠久」において盛大に開催された。

今回の「新年賀詞交歓会」は、東日本旅客鉄道株式会社常務取締役マーケティング本部長 中川晴美様、東日本旅客鉄道株式会社常務執行役員マーケティング本部副本部長 高木浩一様、

株式会社ジエイアール東日本企画専務取締役総合企画本部長 竹島博行様、

株式会社ジエイアール東日本企画取締役メディアソリューション本部長 星野雅央様、JR東日本メディア株式会

社代表取締役社長 竹澤康行様 公益社団法人日本鉄道広告協会専務理事

薬師晃様、公益社団法人日本アドバタ

イザーズ協会顧問 河上千明様、公益

社団法人東京屋外広告協会理事・事務局長 上條久美様、一般社団法人日本

広告業協会専務理事代理 谷野謙様をはじめ広告関係諸団体の方々等多数の

(挨拶文掲載)

2026年の新年を祝う「新年賀詞交歓会」は、総勢約260名が参加する盛大なものとなつた。

最後に石川明彦東日本鉄道東京広告会会長による中締めの挨拶が行われ閉会となつた。

2026年の新年を祝う「新年賀詞交歓会」は、総勢約260名が参加する盛大なものとなつた。

東日本鉄道東京広告会に加盟する会員各社間での懇親が深められるとともに会員各社の相互交流が行われ、新年にふさわしい賑わいのある活況な賀詞交歓会となつた。

会場では「新年賀詞交歓会」における壇上での挨拶に代わり、石川明彦東日本鉄道東京広告会会長の「新年のごあいさつ」が参加者全員に配布された。



中締めをする石川明彦東日本鉄道東京広告会会長

東日本鉄道東京広告会会長
石川 明彦 ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。
2026年の年頭に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

東広会の皆様には、昨年一年間にわたり多大なるご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は相互関税等の影響はあったものの、円安基調による旺盛なインバウンド需要や様々な分野でのAI技術の進展などで企業の業績は総じて好調な一年でありました。依然として物価上昇などの不透明感は残るもの、積極的な経済対策により緩やかな成長が続くと見込まれます。広告業界においては、デジタル広告が市場の約半分を占め、動画やリテールメディアが成長を牽引する一方、交通広告を含めたOOH広告は都市生活に密着した信頼性の高いメディアとして、独自の価値を創出するサイネージメディアをはじめとしたメディア開発、更には駅から街・店舗までを結ぶ生活導線の広告ネットワーク構築を推進します。また、OOHメディア販売プラットフォーム「MASTRUM」では、インベントリ拡充、ログラマティック配信の強化などに取り組みます。

東広会は、会員社の皆様とともに、こうした変化をチャンスと捉え、交通広告をはじめとしたOOH広告の魅力を最大化する取り組みを推進してまいります。

皆様とともに、交通広告の未来を切り拓き、業界全体の発展に貢献できる一年にしたいと考えております。

最後に、皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

値を發揮し安定的な伸びを示しています。

ジェイアール東日本企画においては、昨年は中央省庁等に対する不正な人件費請求という事象が判明し、皆様には大きなご迷惑をおかけしましたことをあらたに詫び申し上げます。今回の事案を深く反省し、会社をあげて信頼回復に努めてまいります。

メディアソリューション本部は、都市における多様な生活導線上のメディアを統合的に活用し、生活者との最適な接点を提供する都市型メディアソリューションの実現を目指します。車両サイネージの更なる価値向上、Beyond Station構想に沿ったイマーシブな空間を創出するサイネージメディアをはじめとしたメディア開発、更には駅から街・

店舗までを結ぶ生活導線の広告ネットワーク構築を推進します。また、OOHメディア販売プラットフォーム「MASTRUM」では、インベントリ拡充、ログラマティック配信の強化などに取り組みます。

「事故防止会議（意匠）」においては、事故事例（他山の石）・安全パトロールの実施結果等が報告され、参加者は安全に対する大切さを再認識し、安全意識の向上を目指して活発な意見交換が行われた。

「事故防止会議（意匠）」においては、事故事例（他山の石）・安全パトロールの実施結果等が報告され、参加者は安全に対する大切さを再認識し、安全意識の向上を目指して活発な意見交換が行われた。

2025年度第4回 「事故防止会議（工事）」を開催

広告工事作業会社を対象に安全作業のための「事故防止会議（工事）」の第4回目が、1月28日（水）に広告工事作業会社・（株）ジェイアール東日本企画・JR東日本メディア（株）の関係者が出席してWEB会議で実施された。

「事故防止会議（工事）」においては、事故事例（他山の石）・安全パトロールの実施結果等が報告され、作業中起きる事故防止に向けヒヤリ・ハットの共有をはじめ、安全に対する大切さを再認識し、安全意識の向上を目指す。

受講対象者は、広告関連会社の工事管理者等で、「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第10条（係員の教育及び訓練等）2項「鉄道事業者は列車等の運転に直接関係する作業を行う係員が作業を行ふのに必要な適正、知識及び技能を保有していることを確かめた後でなければその作業を行わせてはならない」に基づき、講習会に参加することが義務付けられている。講習会では、鉄道用地内における作業の特性に関する注意喚起、最新の内容に改定された規定類にかかる確認と解説が丁寧に行われ、決して起こしてはならない重大事故の振り返りをすると共に、線路近接作業における基礎知識の復習と規則・規程の変更点に関する周知が行われた。また、作業中に異常事態が発生した際の列車防護から始まり、関係各所への通知、報告方法などの手順をシミュレーションを通して確認し、安全管理の向上に努めた。



2025年度 「事故防止会議（意匠）」を開催

2025年度 広告関係10条教育講習会開催

広告関係の「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」（平成24年国土交通省令第69号改正）10条に関する講習会が、第1～2回目（在来線）が12月9日（火）、12日（金）、第3回目（新幹線）が、1月7日（水）に、東日本旅客鉄道（株）マーケティング本部主催で日本鉄道施設協会講習室において実施された。

受講対象者は、広告関連会社の工事管理者等で、「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第10条（係員の教育及び訓練等）2項「鉄道事業者は列車等の運転に直接関係する作業を行う係員が作業を行ふのに必要な適正、知識及び技能を保有していることを確かめた後でなければその作業を行わせてはならない」に基づき、講習会に参加することが義務付けられている。講習会では、鉄道用地内における作業の特性に関する注意喚起、最新の内容に改定された規定類にかかる確認と解説が丁寧に行われ、決して起こしてはならない重大事故の振り返りをすると共に、線路近接作業における基礎知識の復習と規則・規程の変更点に関する周知が行われた。また、作業中に異常事態が発生した際の列車防護から始まり、関係各所への通知、報告方法などの手順をシミュレーションを通して確認し、安全管理の向上に努めた。

<2025年度 第3四半期 媒体別売上実績>

(単位:百万円)

媒体	第3四半期				4月～12月累計				
	2025年度	2024年度	前年比	増減	2025年度	2024年度	前年比	増減	
車両メディア	中づり	596	562	106.1%	34	1,953	1,595	122.4%	358
	まど上・ドア上	273	302	90.5%	-29	783	814	96.2%	-31
	ドア横新B	549	473	116.1%	76	1,670	1,523	109.6%	146
	ステッカー	561	431	130.1%	130	1,570	1,253	125.3%	317
	ADトレイン・車体広告	281	249	113.1%	33	786	757	103.9%	29
	新幹線・ローカル・他社線	71	82	87.2%	-10	174	151	115.1%	23
	車内デジタルサイネージ	1,824	1,727	105.6%	97	4,461	4,246	105.1%	215
計		4,155	3,825	108.6%	330	11,396	10,339	110.2%	1,057
駅メディア	駅ポスター	365	372	97.9%	-8	1,006	979	102.7%	26
	SPメディア	1,145	929	123.3%	216	2,887	2,678	107.8%	209
	サインボード	1,647	1,589	103.6%	58	4,846	4,693	103.2%	152
	フリーペーパーラック 店舗ラッピング	21	76	27.7%	-55	69	229	30.1%	-160
	駅デジタルサイネージ	1,168	1,056	110.5%	111	3,274	3,101	105.6%	172
	計	4,345	4,023	108.0%	322	12,081	11,680	103.4%	401
メディア計		8,501	7,849	108.3%	652	23,477	22,019	106.6%	1,458
その他(工事他)		36	3	1414.6%	34	98	65	151.8%	33
総計		8,537	7,851	108.7%	686	23,575	22,084	106.8%	1,491

「2025年度第3四半期売上」まとまる

(株)ジェイアール東日本企画交通媒体局の2025年度第3四半期売上は、車両メディアは85億37百万円、対前年108.6%で、駅メディアは対前年108.7%となつた。メディア別では、車両メディアは対前年108.0%となつた。駅メディアは車両メディアは対前年108.0%となり、対前年106.8%となつた。

■車両メディア (第3四半期実績)
41億55百万円、対前年108.6%)

『中づり』『ドア横新B』『ステッカー』『ADトレイン・車体広告』『車内デジタルサイネージ』は、大口出稿が増加したこと等により、前年度を上回った。

『まど上・ドア上』は、大口出稿が減少したこと等により、前年度を下回った。昨年度に引き続き首都圏のJR主要10路線ゆりかもめの車内デジタルサイネージにおいて番組配信プラットフォーム「TRAIN-TV」の放映が行われ、TVクオリティの魅力的なオリジナルコンテンツの放映が実施されている。

■駅メディア (第3四半期実績)
43億45百万円、対前年108.0%)

『駅ポスター』は、「一般ポスター」が前年度を下回ったが、「セット商品」は前年度を下回り、全体で前年度を下回った。

『SPメディア』は、「イベント」「自動改札ステッカー」が前年度を下回ったが、「SPボード等」「集中貼り」が前年度を上回り、全体で前年度を上回った。

秋葉原駅で大型プロジェクト広告「AKIBADA W」の放映が2025年10月より開始された。

『サインボード』は、「予約販売」や販媒体の販売を積極的に実施したこと等により前年度を上回った。

『駅デジタルサイネージ』は、「J·ADビジョン」「大型デジタルサイネージ」等が前年度を上回った。

「Beyond Stations構想」に基づいて開発されたメディアとして2025年4月より秋葉原駅で「AKIBADA W」の展開が実施されている。

2025年度 「作業責任者安全講習会」を開催

2025年度下期の「作業責任者安全講習会」が3月11日(水)から3日間、(株)ジェイアール東日本企画本社大會議室で行われる。

この安全講習会は、「作業責任者としての任務及び誘導員等の任務の習得」を目的とした安全への取組み、教育指導の周知を図るもので、駅構内で作業を行う広告会社関連の作業責任者だけでなく、駅構内での調査などを行う社員等も対象とした幅広い講習会となつてている。

なお作業責任者として登録されている方も継続受講者として全員が受講する必要があり、もし受講されない場合は「作業責任者登録証」が失効となつてしまいまますのでご注意ください。

※詳細はJR東日本メディア(株)設備管理部 安全指導課
(電話番号) 03-5391-1246
・住所・連絡先変更
(株)ティーエーチェリー (1月21日付)
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-2
東京ミッドタウンレジデンシズ23F
電話 090-3200-4901
FAX 設置無し

事務局からのお知らせ

会員社の代表者、所在地等が変更になつた場合は東広会ホームページにある「各種変更届」をダウンロードしていただき、ご記入の上、東広会事務局にEメールでご連絡ください。

※東広会事務局連絡先
(メールアドレス) info@tokokai.jp
(電話番号) 03-5447-7928